

小中一貫教育合同夏季研修会資料

第一鹿屋中

学校

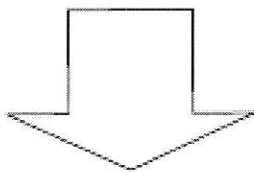
◆ 分科会

学習指導

部会

※ 簡潔にまとめてください。

1 学期の成果 (○)、課題 (●) (2点ずつ程度)	2 学期以降の具体的な取組等 (2点程度)
<p>○ 振り返りの充実を重視、全教科で取り組んできた。</p> <p>○ 三角ロジックを取り入れ、有効に活用できるようになってきた。</p> <p>● グループ学習がうまく進まないことがある。コミュニケーション能力不足もその要因の1つ。</p> <p>● アンケートを採った結果、「授業がよく分かる」の項目で「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の回答の合計が各学年10%以上ある。</p>	<p>・ 困り感のある生徒が質問しやすいペアやグループ学習など、効果的な手立てを考え、取り入れていく。夏休み中の職員研修で協議予定。</p>



MEMO

【協議を受けての共通実践事項：各校へのお土産】→ 小中一貫ワークシートに反映させる。

小中一貫教育合同夏季研修会資料

野里小

学校

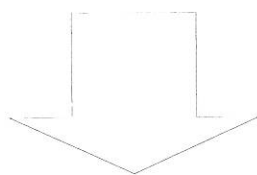
◆ 分科会

学習

部会

※ 簡潔にまとめてください。

1学期の成果（○），課題（●）（2点ずつ程度）	2学期以降の具体的な取組等（2点程度）
<ul style="list-style-type: none">○ 筋道立てて物事を考えられるようにするために、校内研修のテーマに三角ロジックを掲げ、その実践方法について、じっくりと研修を進めることができた。○ 三角ロジックを全学年が授業で実践し、その実践報告を全職員で共有することで、課題や今後の方針を探ることができた。● 三角ロジックを日常的に授業の中で活用するまでには至っていない。● 昨年度まで力を入れていたふり返りについての共通理解が十分にできていなかった。	<ul style="list-style-type: none">・三角ロジックを活用する場について具体的に検討し、実践を積み重ねていく。・教師がファシリテーターとなり、問いの言葉を工夫しながら、三角ロジックを完成させられるように研修を進めていく。



MEMO

【協議を受けての共通実践事項：各校へのお土産】→ 小中一貫ワークシートに反映させる。

小中一貫教育合同夏季研修会資料

西原台小

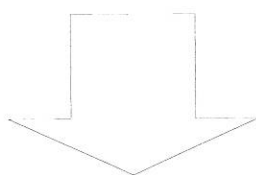
学校

◆ 分科会

学習指導

部会

1学期の成果 (○)、課題 (●)	2学期以降の具体的な取組等
<p>○ 「学業指導のしおり」について教育課程に載せることで、学びに向かう集団としての基礎を全校体制で整えることができた。</p> <p>○ 本校の課題を分析して、研究テーマや仮説を設定し、組織的に校内研修を進めることができた。</p> <p>● 1学期の校内研修では、研究の基礎を固めるために授業実践での検証を行うことができなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 夏期休業中（8／21）にNRTの分析を行い、2学期以降の指導にいかしていく。・ 1学期から校内研修で進めてきたことについて、授業実践を通して検証していく・ 小・中一貫教育合同研修会で共通理解事項や取組事項が決まれば、取り組んでいく。



MEMO

【協議を受けての共通実践事項：各校へのお土産】→ 小中一貫ワークシートに反映させる。

小中一貫教育合同夏季研修会資料

鹿屋市立西原小

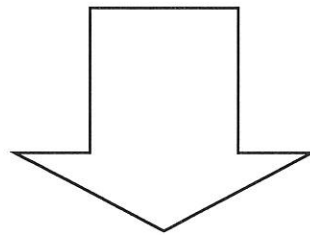
学校

◆ 分科会

学習指導 部会

※ 簡潔にまとめてください。

1学期の成果 (○), 課題 (●) (2点ずつ程度)	2学期以降の具体的な取組等 (2点程度)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度初めに全職員で「学力向上に係る共通実践事項」を確認するとともに、毎月の振り返りを数値化、実践内容を共有して改善を図っている。 ○ 6月に全家庭を対象として「家庭学習強調週間」を設定し、1週間の家庭での生活や学習の様子を記録、反省することで、実態把握に努めた。 ● 学力の二極化による乖離が大きく、一斉授業の中での対応が不十分である。 ● 家庭での学習習慣が定着していなかったり、内容が粗雑だったりする児童が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校のテスト期間に合わせ、2学期の「家庭学習強調週間」の調整。(夏季合同研修会) ・ 「学習のきまり」の再確認と保護者への周知、次年度への見直し。



MEMO

【協議を受けての共通実践事項:各校へのお土産】→ 小中一貫ワークシートに反映させる。